あなたの保養プログラム、私達と一緒にステップアップさせていきませんか？

2018 年度
パートナー団体申込
2018 年 3 月
説明会開催

例えば
こんな **お悩み・疑問** ありませんか？

- 資金調達が難しくて…
- 保養の募集をしたけど参加者がなかなか集まらない…
- どんな内容の保養が求められているの？
- 安全管理ってどんなところに気をつけたら良いんだろう？
- 保養と法律の関係 !? 私の保養プログラム、法律違反 !?

私達が課題解決のお手伝いを致します！

子ども被災者支援基金の3つの事業

資金の助成

全国の保養実施団体に対し、夏休みのプログラムを中心に**資金の助成**を行っています。

プログラム実施に必要な費用であれば、用途不問としております。

人材育成研修

スキルアップ研修会を開催しています。

- 集団行動
- 安全管理
- 野外活動
- 事務処理 など

パートナーサポート

より良い保養と課題の解決のための**サポート**を行っています。

- プログラムや団体運営の自己診断とアセスメント
- 課題の共有と他団体の事例導入
- 課題解決へのプランニング など

一般社団法人
子ども被災者支援基金

TEL.0237-85-1070
FAX.0237-85-1071
http://kodomohisaisha.org/

詳しくは
裏面を
ご覧ください

私たちが考える保養について
保養プログラムの6つのポイント

多様性を大切にする

保養の参加者の状況は多様であり、また保養のスタイルも同様であることを認め合うことが必要です。その上で、プログラムの作成にあたっては、参加者と主催者のコミュニケーションを大切にしましょう。

安全性を大切にする

保養は参加者とともに創り上げていく生活そのものであり、そこには病気・けが・事故等の危険をともなうものも存在します。このことを十分に理解した上で、起こり得る最悪の事態を想定し、実施体制を構築しましょう。

継続性を大切にする

保養はその活動を必要とする参加者が存在する限り継続して行われることが望ましいと考えます。そのためには、人材の育成や自己資金の獲得に向けて、組織の運営や支援者とのつながりを大切にしていきましょう。

快適性を大切にする

保養は、参加者が日常を過ごす場所を変えて生活を送るものです。衣食住に関しては、参加者が主催者に対して要望を述べやすい環境をつくり、可能な限り安心で快適な生活を送ることができるようにしましょう。

信頼性を大切にする

保養は参加者と主催者との信頼関係が必要です。そのためには、主催者は情報公開を積極的に行うことで透明性を高めることが大切です。

遵法性を大切にする

保養は不特定多数の参加者を募る以上、公共性の高い事業と言えます。参加者の移動や宿泊、プログラム中のアクティビティなどには様々な法令が関わっており、主催者はその内容を十分に把握しておく必要があります。しっかりとした法令遵守の取り組みを行い、保養の社会的意義を高めて行きましょう。

2018年 子ども被災者支援基金
パートナー団体登録応募要項

現在、ほとんどの保養団体は資金面、スタッフの確保、安全性や健康面でのケア、場合によっては旅館業法や旅行法といった法律に抵触など、様々な課題・リスクを抱えています。

私たちは、各保養団体のプログラムの質を高め、参加者はもとより社会に対しても一定の責任を担い、遵法性の高いプログラムを提供する事で、安心して参加できる環境を整え、保養活動の社会的、公共的価値を高め、もって認知度を高める事が急務であると考えます。

そのことを実現するために私たちは、単に資金援助をするだけでなく、人材育成や企画運営、安全管理などに関するセミナーの開催などを、保養団体との共同事業として取り組んでいきたいと考えています。その趣旨に賛同する保養団体にはパートナーとして登録していただき、各保養団体と共に問題解決を図り、保養プログラムの向上のみならず、保養団体そのものの質の向上を図る事業を展開するものです。

子ども被災者支援基金 パートナーシップ のイメージ

対象となる団体

- 上記の趣旨に賛同する団体
- 法人格の有無を問わず、福島県内あるいは近隣地域の中で暮らしている、特定の社会環境下にあり、保養に出ることが困難な子どもたちの保養プログラムの実施と参加に対して責任を有する団体 (NPO/NGO) や施設
- 資料の提出やヒアリングおよび当団体の事業に協力できること

登録受付期間

説明会終了後 ～ 2018年4月10日

詳しくは当団体 WEB サイトをご確認下さい。

子ども被災者支援基金　検索

http://kodomohisaisha.org/